

○ カリキュラム、手引きの充実に係るヒアリング先一覧

資料③

	調査先候補	概要	対象	運営主体	期間・回数	スタイル	出典・参考URL
カリキュラムの充実 (5件程度)	1 地域づくり人(びと)養成講座	ECPRでは、地域の実態に即した実践的な研修を通じて、地域づくりのリーダーとしてのスキル向上を図り、各地域において活動の中心となる人材を育成するため、「地域づくり人養成講座」を実施している。年度ごとに参加者を募集し、受講生・卒業生同士の交流も盛んで、地域に根付いたネットワークが様々な場面で力を発揮している。	地域づくりのリーダーとなる人材	えひめ地域政策研究センター(ECPR)	全6回	座学、フィールドワーク等	http://www.ecpr.or.jp/work/taient.html http://www.ecpr.or.jp/info/seminar/seminar20125018.pdf
	2 四国サイコーダイガク	四国サイコーダイガクは、農林水産物や観光資源など数多くの素晴らしい地域資源が存在する四国の魅力を広く伝えていくため、四国をもう一度考え(再考)、四国をもう一度元気にし(再興)、四国を最も素晴らしい場所にする(最高)という想いを込めて、中小企業基盤整備機構四国本部(中小機構四国)が平成21年5月に創設したものだ。	四国の中小企業者、農林水産業者、支援者	中小企業基盤整備機構四国本部(中小機構四国)	平成24年4月下旬～平成25年3月(毎月1回程度)	座学、ビジネスプラン作成	http://www.smri.go.jp/shikoku/branch/049512.html
	3 地域プロデューサー育成塾	東京農業大学木村教授が座長となっているもので、全6回の講義やワークショップを通じ、まちづくりについて入門編から応用編まで一通り学び、地域ビジョンを描きます。まちづくりの理念や手法を学び、地域の未来を創造する「地域プロデューサー」の育成を行っている。	まちづくりに関心のある方ならどなたでも参加可能	青年会議所地域リーダー育成委員会	全6回	講義、ワークショップ	http://www.i2.iavcee.or.jp/2012/region/
	4 はちおうじ志民塾	今まで培ってきた知識や経験を活かし、社会貢献活動や産業活動などの担い手として、地域に根ざして主体的に活動をしていきたいという“志”を持った、概ね50歳以上の「男女」を対象に開塾。	50才からの地域リーダー育成	八王子市協働推進課	全11回	講義、ワークショップ	http://www.city.hachioji.tokyo.jp/33852/shiminkatudo/shiminkatsudo/shiminivuku.html
	5 筑波学院大学オフキャンパスプログラム(OCP)	大学生に4年間必修で「社会力」を身に付けさせるプログラムです。合言葉は、「つくば市をキャンパスに」です。市内の様々な団体や企業との協働をして学んでいる。	大学生	筑波学院大学			http://www.jasso.go.jp/syugaku_shien/documents/h20tudoitakeda.pdf
手引きの充実 (8件程度)	1 鯖江市地域活性化プランコンテスト	本気でこれからの日本を背負うリーダーになっていきたい学生が、鯖江市長になって地域活性化プランを考えるコンテスト。	大学生	鯖江市地域活性化プランコンテスト実行委員会	2泊3日	ガイダンス、市民、市関係者の方へインタビュー&リサーチ、プランニング	http://profo.jp/sabae-plancontest/
	2 えがおつなげて「農村インターンシップ」農村都市交流マネジメントスキル習得コース	現場で、五感で感じるリアルな「農村」の現状や可能性を学びながら、事業づくりやNPOマネジメントの基礎を学べる実践型インターンシップ。「農村都市交流マネジメントスキル習得コース」のほかにも各種インターンシップを実施。	地域活性化をめざす人	NPO法人えがおつなげて	土日1泊2日のフィールドワーク4回を加え、合計15回+事前研修	座学、フィールドワーク、e-ラーニング、インターンシップ	http://www.npo-egao.net/
	3 丸の内朝大学「地域プロデューサークラス」	様々な地域のプロデューサー事例を取り上げながらその手法を学び、実際に地域が抱えている問題を解決していく実践型の講座。	主に丸の内周辺に勤務するビジネスパーソン	丸の内朝大学企画委員会	全8回(60分)	講義、フィールドワーク	http://asadaigaku.jp/course/index.cgi?c=zoom&pk=75
	4 総合計画策定過程での「コミュニティーデザイナーの研修プログラム」	総合計画の実行支援を担う、コミュニティーデザイナーを養成。歴史文化、人口動態といった、まちに関する基礎情報に加え、支援に必要な知識や技術を修得。	海士町職員、集落支援員、地域おこし協力隊	海士町・studio-L	1週間	講義と現地での地域支援の実践	山崎亮(著)、NHK「東北発☆未来塾」制作班(著)「まちの幸福論」pp157
	5 地域活性化システム論	知の拠点である大学において学生・行政・NPO等を対象に地域の課題をテーマとした講義を通じ、地域課題の発見能力と分析能力、現場における政策立案能力を備えた人材の育成を行うものです。【平成23年度開講実績】33大学で展開	学生・行政・NPO等	内閣府・各地の大学			http://www.chiiki-info.go.jp/local/system/localsystemgaiyou.pdf